

大阪湾広域臨海環境整備センター「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」 令和5年度 助成対象の研究の決定について

「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」は、大阪湾広域臨海環境整備センターが公益事業の一環として実施しているもので、大学・研究機関等における若手研究者の調査研究に助成を行い、その成果を通じて、大阪湾圏域の海域環境再生・創造に寄与することを目的としています。このたび、令和5年度の助成対象の研究について選考を行いました。本年度の選考結果は以下のとおりです。なお、事務局は特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会が務めました。

◆応募状況

令和5年4月7日から5月15日の募集期間において、11件の応募がありました。

◆選考委員会概要

開催日：令和5年6月12日（月）15時15分～16時45分
神戸市立中央区文化センター 1112号室

委員：大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度選考委員 8名
(特定非営利活動法人瀬戸内海研究会企画委員)

選考方法：選考委員による採点及び選考委員会での審議

◆選考結果

選考委員会の厳正な審査の結果、今年度の助成対象として6件の研究が採択されました。

表 助成対象の研究一覧

申請者名 (五十音順)	所属機関名称 及び役職名	助成研究テーマ
1 板井 啓明	東京大学大学院 理学系研究科 地球惑星科学専攻 准教授	大阪湾における生物必須微量元素の環境-生態系循環解析
2 古賀 佑太郎	公益財団法人ひょうご環境創造協会 兵庫県環境研究センター 水環境科	播磨灘の栄養塩類流入負荷量の変化が水質・低次/高次生態系に与える影響予測:モンテカルロ法を用いた食物連鎖モデルによる解析
3 齋藤 光代	広島大学大学院 先進理工系科学研究科 准教授	流域からの栄養塩流出変遷が大阪湾沿岸の栄養塩収支に及ぼす影響の陸域-海域統合評価(その2)
4 富山 毅	広島大学大学院 統合生命科学研究科 准教授	高次捕食者がイカナゴ資源に及ぼすトップダウン効果の検証(その2)
5 中谷 祐介	大阪大学 大学院工学研究科 准教授	大阪湾の水質変動に及ぼす波浪の影響評価
6 李文驕	京都大学大学院 地球環境学堂 研究員	大阪湾における薬剤耐性菌・遺伝子の存在実態および海洋プラスチックを介した水平伝播ポテンシャルの検討(その2)